



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

2017 年度ボランティア研修会開催

～ 手話講習会で簡単な手話を使ってみました ～

2月5日(日)13時30分～15時30分、運営ボランティア72名と見学ボランティア・スタジアム職員約110名が301号会議室に集まり、2017年度ボランティア研修会が開催されました。今回は、横浜市聴覚障害者協会から講師と通訳をお招きして手話講習会を行いました。

はじめに倉知公園管理局長から、手話を少し交えたご挨拶がありました。「ラグビーワールドカップ2019の1000日前イベントが折しも今日、横浜みなとみらい地区で行われています。ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックでは世界中からお客様が来場されます。ボランティアにとってお客様とのコミュニケーションはとても大切です。」



手話講習会に参加する運営ボランティアの皆さん

お客様の中には聴覚障害の方々がいらっしゃることも想定され手話をぜひ学んでいただき、より良いコミュニケーションを図れる様にしてもらいたいと思っています。そして日頃の生活や、日産スタジアムの活動の中で今回の経験を生かしてください。どうぞよろしくお願いいたします。」

また、運営ボランティア事務局の安田さんから、「今回の研修会では手話講習会を取り上げましたが、過去20年の研修の中で手話を取り上げたことはありません。今日の2時間程度の講習会で手話ができるようにはなりません。本日の研修会をきっかけに、手話を学んでまいりましょう。」挨拶がありました。

手話講習会は、講師によって進められました。ご自身が聴覚障害になった経緯や、ろう学校でコミュニケーション手段としてどのような訓練を受けてきたか、手話を交えながら講習が行われました。また、講師の進行を補うために通訳が説明を加えていただきより深い理解ができました。

「以前のろう学校では聴覚障害者とのコミュニケーション方法として、手話の使用は認められず、口話教育が行われました。これは口の形を見て何を言っているか読み取る方法ですが、口の動きが似かよった言葉や、同音異義語や、発音が同じでアクセントが異なる言葉など、区別がつかない場合があります。聴覚障害者とのコミュニケーションの方法には、手話の他に筆談



講師の皆さまの挨拶

ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム

や身振りなどがありますが、それぞれ使い方に注意すべき点があって、聴覚障害者が誤解しないように注意する必要があります。」

手話の使用には、相手と多くのメリットがあり、比較的簡単なコミュニケーション方法として使われてきました。手話で使われる手の動きや身振りにはそれぞれ意味があって、講師がいろいろな手話を見せながらその意味や成り立ちの説明をしてくれたので、参加者はだんだん手話を理解できるようになりました。

手話指導(実技)では簡単な手話を使ってみました。初めに講師が「ありがとうございました。」や「お疲れ様でした。」といった簡単なあいさつのやり方をみんなに見せて、参加者は見よう見まねで手話を使ってみました。さらに日産スタジアムの場内案内で使える手話を教わりました。この講習の後半では普段使えそうな簡単な手話を行ってみました。講師が手話のお手本を見せながら、手話の動きの意味を説明してくれるので、参加者はよく理解しながら手話の動きを真似ていました。

講師は手話の教え方がとても上手で、参加者の笑いを取りながら、和やかな雰囲気です話講習会が終わりました。



講師 一般社団法人横浜市聴覚障害者協会
理事長 井上 良貞さん

今回の手話講習会に参加して、手話は思っていたよりも覚えることは難しくなく、手話が身近に感じられました。今後は手話を少しずつ覚えて、積極的に使ってみたいと思います。ぜひ日産スタジアムのボランティア活動の中でもコミュニケーションの方法として手話を使えるようになりたいと思います。

最後になりましたが今回の手話講習会において、ご指導いただきました横浜市聴覚障害者協会の講師や通訳の皆さまに、心からお礼を申し上げます。(久保 勝美)



手話



ありがとう



ご苦労さま

右手を垂直に立てて、左手の甲をトントンとたたく。

右手のこぶしで、左手の腕(手首の近く)をトントンとたたく。

スタジアム見学ツアー



ボランティア研修会の後に、スタジアム見学ツアーが行われました。普段は入ることができない、2002FIFA ワールドカップの記念品展示エリアや、昨年のクラブワールドカップ 2016 のユニフォームなどを見ることができました。また 2002FIF ワールドカップで優勝したブラジルチームのロッカールームには有名選手のユニフォームが展示しており、個々の選手のサインが残されていました。その他にも貴賓室や放送室など、初めて見る施設ばかりで大変有意義なスタジアム見学ツアーでした。

(久保 勝美)

ボランティア交流会

～ 2017年Jリーグ開幕に向けて、チームの士気が上がりました ～

ボランティア研修会とスタジアム見学ツアーの後に、約50名のボランティアが参加して、ボランティアルームで交流会が行われました。交流会は和気あいあいとした雰囲気でもみんな楽しむことができました。一人ひとり、短い自己紹介をして、ボランティアの経験など、普段の活動では聞けないようなメンバーの楽しい話もたくさんあり、個性あふれる話で交流を深めました。日産スタジアムボランティアを設立した時から活動している人もいれば、最近加入された人もいますが、今回の交流会では顔や名前を知らないメンバーが話をして、より深く知り合える良い機会となりました。

日産スタジアムボランティアの長い歴史の中で、「最初の交流会は、1999年の夏に小机競技場(現 日産フィールド小机)の横で150名くらいの方が集まって行われたことや、一時期は、301号会議室で交流会が行われていましたが、会議室が汚れる問題があったことや、ボランティアルームができた後はボランティアルームを使って交流会を行っている。」といった話もありました。再来年にはボランティア活動の20周年を記念したイベントを企画したいという声もありました。

交流会の後半にはレアな品々や豪華な賞品が用意され、抽選会が行われました。じゃんけん大会も行われて、お宝グッズや選手のサイン入りシューズを手に入れたラッキーな方もいました。

2月18日日産スタジアムで富士ゼロックススーパーカップ2017が、2月25日にはJリーグが開幕します。今年も、各種イベントの活動の中で、お客様とメンバーの笑顔を大切にしていきたいと思います。(久保 勝美)



交流会の抽選風景



交流会の参加者の皆さん

歳時記「新横浜公園 凧揚げの日」

1月9日(月・祝)年頭恒例行事の「新横浜公園凧揚げの日」は、あいにく前日からの氷雨で開催も危ぶまれましたが、10時ごろには小雨となり、予定どおり11時に開催することができました。お客様は例年よりぐっと少なく凧の販売数は150セット以下でした。大凧揚げも中止になりましたが、風は凧揚げに最適で子どもさんたちは大喜びでした。(安田 十四雄)



凧揚げの風景

歳時記 餅つき&注連(しめ)縄づくり中止

市民の皆様にも楽しみの年末恒例行事の餅つき&注連(しめ)縄づくりは、12月にクラブワールドカップ3試合と天皇杯2試合が入ったため、残念ながら開催することができませんでした。今年は冠水もなく田んぼに大きな被害がなかったため、稲わらは良いものがとれましたが、とても残念でした。ファミリーの皆さん、次回を楽しみに待っててください。(安田 十四雄)

各部会 会議議事録(要約)

◆ 平成28年度ボランティア事務局 会議議事録

1月8日(日) 出席者:安田、上田、大家、菊池、久保、羽賀、大橋 ボランティア担当 横田

1:各部会報告

1) 運営部会

- ア. 今年度の新人研修参加者人数は22名
- イ. 28年度新人研修参加者の内3名の方が活動未経験、その他の方は何らかの活動に参加した。
- ウ. 第4回目の新人研修を平成29年1月29日(日)に実施、現在8名の参加申込み。

2) リーダー部会

- ア. 2月5日10時から開催する。リーダー・ワンダーリーダーに開催通知を発送済み。
- イ. リーダーとワンダーリーダーの役割を明確にする。

3) 研修部会

- ア. 2月5日13時30分より「手話講習会」をメインとして開催予定。前半1時間は講義、後半1時間は手話実技の計画中。(78名)講義終了後に約30分のスタジアム見学計画。16時30分から懇親会予定。

4) イベント部会

- ア. 11月19日しめ縄、餅つき実施。(参加者21名)

5) グリーン&クリーンクラブ(環境・美化部会)

- ア. 田植えは雨のため一般参加は中止、部会のメンバーが田植えを実施。
- イ. 案山子作りの実施した。稲刈り実施した。(当日雨天3組参加した。)脱穀には園地利用者が参加した。
- ウ. 港北区役所で募集しているオープンガーデンに申込み済。
- エ. 市民への広報活動をもっと活発にしなければならない。

6) 情報部会

- ア. 「ボランチわ第31号」3月編集開始。4月発行予定。各部会とも3月に部会報告提出のこと。
- イ. スタジアム外で個人参加した活動は、体験記及びコラムとして事務局に提出して掲載を判断する。

2:1月2月の活動予定

- ア. 1月9日風揚げの雨天可否連絡は、メール又は電話にて連絡する。
- イ. 1月14日よこはま国際ちびっこ駅伝。1月27日日産スタジアム駅伝袋詰め作業。1月28日日産スタジアム駅伝。
- ウ. 2月18日はフジゼロックススーパーカップの活動。

来年度の活動について

- ア. 運営ボランティア登録更新について1月13日に更新書を発送した。
- イ. 来年度の活動について
活動割当表の検討は、名前の無い用紙を配り、本人に記載していただく形式で行う。1グループのみ2~3回実施検証後、可否を決定する。

ウ. ボランティア事務局パソコンについて

業者と調整をしている。システムプログラム内容を確定する前にボランティア事務局員の意向も反映する。



◆ 平成28年度 イベント部会 会議議事録

2月25日【部会長】久保 正文

【2017年度活動予定】ボランティアの懇親、交流を図るイベントを四季毎に企画・実施する。

春:花見の会 4/2(日)13:00から開催予定(別途案内する) 夏:ビール工場見学

秋:ハイキングまたはウォーキング 冬:しめ縄作りおよび餅つき

◆ 平成28年度 情報部会

2月5日 新部会員 久保 勝美

ボランチわ第31号 2月中旬編集開始。3月下旬校了。3月末印刷・発行予定。

◆ 平成28年度リーダー一部会 会議議事録

2月5日 出席者 井出清四郎、小林正行 大家啓伸 上田敏彦 久保正文 菊池喜代勝 鈴木克明 横塚雅実 平川みゆき
大石忠雄 増田秀男 中村信武 大谷圭吾 網野勉

議題 ○2016年活動の振り返り

●良かった点・マリノス戦では活動がスムーズに行えた。・活動と休憩のローテーションは良かった。など

●改善点・リーダー不足が年間通じてあった。リーダーに負荷がかかっているので改善案を検討すべき。・マリノス戦では表示案内が無かったり、文字小さく読みにくい。現場確認して改善してもらいたい。・朝早い集合時間では活動できない。早番と遅番で集合時間が分けられないか。・女性のリーダーがいない。リーダーをやってもらえる方を見つけたい。・若い方が少ない。リーダー育成を多様化したらどうか。・ハーフタイムのマイカップ行進で大きなPR幕はスタンドから見えないので対策を考えるべきである。・冬場は寒いので防寒着を貸与してもらいたい。 など

○2017年活動の方針・前年同様のリーダー制度・活動は継続していく。新たなリーダー候補者を育成していく。本年は二人が対象である。ラグビーワールドカップ、五輪が続くのでリーダーの育成環境が始まる。

○ワンダーリーダー制度について活動時にリーダーが不足している時に臨時にリーダーを行う制度である。慢性的にリーダーが不足している現状では、マリノス戦の活動は都度5名程度がワンダーリーダーとして活動をおこなっている。ワンダーリーダー制度について意見交換を行い、呼称をサブリーダーと改める。活動時の臨時にリーダーを行うことは変更なし。

○2017年も前年同様リーダー、サブリーダーは継続。新人リーダー 倉橋丈夫、大谷圭吾

○部会長は上田敏彦氏が2017年も継続して務めることを決めた。

運営ボランティアガイド改訂 リーダー制度 2 リーダーの募集

自薦またはリーダー一部会にて推薦された人は、サブリーダーとして登録されます。その後、サブリーダーとしての経験を経たのち、リーダー一部会よりリーダーとしての資格を認められた人は、リーダー一部会の推薦を得て事務局会議で認証されてリーダーとして登録されます。

スポーツボランティア・ラウンドテーブル2016 参加報告

報告 横塚 雅実

2016年9月24日、「スポーツボランティア・ラウンドテーブル2016」が東京都文京区のJFAハウスで開催されました。これは2013年2月に横浜市で開催された「第13回全国ホームタウンサミット in YOKOHAMA」の後継するイベントとして、有志の実行委員会の皆さんにより企画されたものです。

当日は全国各地から120名のスポーツボランティアの皆さんが参加しました。冒頭のJリーグ村井満チェアマンの挨拶の後、第一部では文教大学准教授で日本スポーツボランティアネットワークの二宮雅也理事から「大型イベントに向け何ができるだろう？」と題した基調講演がありました。

続く第二部では二宮先生と現場経験豊かな3人のパネラーの方が加わり、「もっと楽しもう！」と題して、パネルディスカッションが行われました。更に第三部では参加120名が8つのグループに分かれ、現場の課題や将来を話し合う「ラウンドテーブル」がグループディスカッション形式で進み、それぞれの発表がありました。

17時からは会場をJFAハウスのVIPラウンジに移し、参加者はそれぞれのユニフォームに着替え、グループの活動紹介を交えながら、賑やかな懇親会が進みました。日産スタジアムからはサイクルスポーツフェスティバルと重なったため、小生1名の参加でしたが、マリノスサポートスタッフの皆さんとともに横浜を大いにアピールしてきました。実行委員会ではこの会を定例化させたいとのことで、次回以降は是非、日産スタジアムの運営ボランティアの皆さんがそろって参加し、2020年に向けて、全国のスポーツボランティアと大いに交流、連携していきたいと感じました。



二宮先生による講義風景

参加者によるグループディスカッション

- 日時 2016年9月24日(土) 13:00 ~ 17:00
- 場所 JFAハウス(東京都文京区本郷3-10-15)
- 主催 スポーツボランティア・ラウンドテーブル実行委員会
- 後援 公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
- 協力 特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク(JSVN)
- 来賓 スポーツ庁参与官 由良 英雄氏
Jリーグチェアマン 村井 満氏
日本ラグビーフットボール協会理事 稲沢裕子氏 他

○感想

・村井チェアマンからJリーグの理念の一つに「Do all Sports」というものがあり、Playではなく、Doだ、という話がありました。また近年、Jリーグが強化している取組みに「オーナーシップ」があり、多くの寄付で整備された吹田スタジアムが例に挙がっていました。



平成 28 年度(2016年)Jリーグ横浜F・マリノス戦 7 回以上活動参加者

平成 28 年度にJリーグのF・マリノス戦に活動された方で7回以上参加された方は下記のとおり 116 名の方々です。本年も横浜マリノス株式会社様より活動研鑽のための観戦チケット(1名に2枚)が配布されます。観戦日は3月に決定して活動日に301号室にて表示されますので、該当の方は「観戦希望日」を早めに表にご記入ください。観戦チケットは順次事務局に入手次第に事前に301号室にて配布(または郵送)いたします。希望日記入の無い方にはその都度割り当て配布いたします。ご了承ください。なお、チケット配布に関する電話・メールでの問い合わせはできません。ご承知ください。(担当 安田)

- 11 年度: 井出清四郎、加藤仁樹、大輪正美、伊藤博、小林正行、安田十四雄、大家啓伸、能澤末喜、米口功一、上田敏彦、原敏美、岩松節子、大橋靖子、久保正文、菊池喜代勝、野見山捷一、中原早苗、鈴木崇津久井喜代子、志保田俊男、鈴木克明、鈴木郁子、石関朋幸、筒井由美子、横塚雅美、原橋清美、佐藤辰夫、尾形玲子、川尻和子、荒川栄、中島節子、田代勝子、平川みゆき、佐山喜美、田中龍男、副島由紀、瀬尾孝子
- 15 年度: 小野愛生、篠原伸及、岩崎俊一郎、大石忠雄、落合明人、土手健治、堀満夫、村田博
- 16 年度: 押尾正明、富田民男、石原軍、鷹嘴芳之、富田聖子、森はつえ
- 17 年度: 志賀君枝、重田和夫
- 18 年度: 南川圭一、松本久子、中澤ふさ子
- 19 年度: 石井篤、斉藤義隆、倉橋セイ子、三井卓、渡辺福子
- 20 年度: 堀内弘一
- 21 年度: 長谷川俊一、伊知地晴美、平尾隆郎、坂口孝信、瀬戸清、松田君代、伊奈川守男、岩下輝雄、吉村保子、佐野佳子、大金信夫、尾形忠實
- 22 年度: 百瀬正勝、朝倉道昭、三浦秀俊、増田秀男、石井美由紀
- 23 年度: 松尾忠史、尾形満雄、藤巻トヨ、菊池佳子
- 24 年度: 中尾吉宏、柏倉康夫、海老原美代子、小高啓子、玉井美和子、塚田貢、塚田美保
- 25 年度: 羽賀眞晤、中村信武、阿部淳、内海直親、漆原明美、川和啓二、山下公一、井野隆司、安達隆彦、山田巖
- 26 年度: 鳴田東光、須藤美与子、轡田憲行、岡山義和、吉原建志、瀬谷裕
- 27 年度: 藤井謙治、倉橋丈夫、林泰信、荒井禎尚、堀内好子、須藤一二、伊藤玲子、岸茂雄、大谷圭吾、富岡浩一、本道治男
- 28 年度: 三橋幸雄、大森儀江、大串清治、堀越保博、小屋喜志子、久保勝美

なお、既に3月18日活動日よりチケット配布を開始し12回分のうち3回分までが配布済みです。

以上

「 イベント部会への誘い 」

日産スタジアム運営ボランティアの皆さんこんにちは！ いつもスタジアムボランティア活動お疲れ様です。運営ボランティアの主業務は当然ながらJリーグをはじめとする日産スタジアム各種行事のボランティア活動です。

皆さんのボランティア活動の目的は何ですか？ ボランティアとして活動しながら、いままでに出会うことのなかった様々な皆さんとの交流や懇親を深めることも目的ではありませんか。そんな希望のある方々は是非ともイベント部会の活動に参加をお願いいたします。イベント部会は、今年もボランティアの皆様の交流、懇親を図る企画を実施します。

イベント部会の活動を通して運営ボランティアの活動が今以上に活性化されることを願っています。(久保正文)

活動ワンポイント

2019年2020年Wチャレンジしよう

ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピックが日産スタジアム(横浜国際総合競技

場)で開催されます。この世界的大イベントが私たちのホームグラウンドで行われるということは、私たちボランティアにとってとても嬉しいことです。

皆さん、この世界的大イベントのボランティアに是非 W チャレンジしてください。私たちの中にはあの2002FIFA ワールドカップの感動を体験した方が多くいらっしゃいます。あの感動を再び体験できることはまたとないチャンスです。そして東京2020オリンピック・パラリンピックでは、是非パラリンピックにもボランティア参加してください。オリンピックはとて長期間の活動になるので、パラリンピックまでは体がもたない、と思われる方がおられますが、2大会の間に2週間の余裕がありますので大丈夫です。是非にとパラリンピックボランティアをお勧めする理由は、私の1998年長野オリンピックボランティアの体験からです。2月に行われたオリンピックから2週間後のパラリンピックにはオリンピックボランティアで継続された方は数少なく新たにパラリンピックボランティアが参加されました。期間中数多くのオリンピックボランティアから「2・3日でも良いからパラリンピックに参加したかった」と電話がありました。それほどにオリンピックとパラリンピックの活動では全然違う感動があるのです。パラリンピックではヘルプサポートなど選手と接触する機会も多く、アスリートをとて身近に感じます。

多分今年の後半には2019年のボランティア募集の動きが始まるでしょう。2020年のボランティア募集も来年には動き出します。参加希望者は、自分自身がそれぞれの大会でどんな種目のボランティアをやりたいか決めておくことです。勿論なかなか希望通りの活動ができるかは難しいですが、申し込みの段階でははっきりしておくことです。当然日産スタジアムでの活動が第一でしょうが、その他にも特殊なボランティアとしてメディアセンターでの活動もあります。但しメディアセンターの活動には語学の特技が必須です。特殊な活動ではドーピング検査補助などの活動もあります。

運営ボランティアとして、今年の活動が終了する年末には「2019年・2020年ボランティア活動希望者のためのセミナー」を立ち上げたいと考えています。皆さんも3年後を見据えてWチャレンジへの計画を是非立ててみてください。
(安田 十四雄)

今年もやります！「親子で楽しく米作り、植えて覚えよう花の名前」

Jリーグ開幕戦終了後、本年度の総会を開催し、「親子で楽しく米作り、植えて覚えよう花の名前」を今年も継続することを確認し、活動を開始しました。農協にもち米の苗3枚分を注文し、5月末に受け取ります。部会員が慣れない農作業の田起こし、代掻きを行います。田植えをする親子を公募し、泥んこになって悪戦苦闘を体験していただきます。例年の風景ですが親子共々に初体験に戸惑いながらも実に楽しいイベントです。昨年は花壇に種団子を作り播きました。見たこともない豪華な花が咲きました。今年は港北区のオープンガーデンに参加します。花壇を綺麗な花でいっぱいにして来園者に楽しんでいただけるように計画し、花好きな部会員が構想を練り、球根植え、播種をしています。春の連休明けには雑草取りに汗を流すこととなります。もち米の花が咲き始める夏休みの終わり頃に、「案山子作り」を行います。子どもたちの発想豊かな案山子が毎年、公園の人気者になっています。天候不順に悩み、水の心配をし、草を取り、肥料を施し、稲穂が首を垂れ黄金色に輝き始めると楽しい「稲刈り」です。よく切れそうな稲刈り鎌を持ち、手脚を切らない様に参加者もボランティアも真剣に作業します。

刈り取った稲はどのくらい採れているか想像しながら田んぼのフェンスに掛け乾燥します。昨年は33kgの収穫で美味しいお餅になり、藁は注連(しめ)縄になりました。少しでもこのような活動に関心を持たれた方は、グリーン&クリーン部会に入会してください。(菊池 喜代勝)



※ INFORMATION ※

2017年4月以降の活動日程

日(曜日)	大会・イベント名	集合時間	終了時間	要員
4月8日(土)	横浜F・マリノス vs 磐田【第6節】 19:00K/O	15:15	21:00	126
4月30日(日)	横浜F・マリノス vs 大阪【第9節】 17:00K/O	13:15	19:00	126
5月4日(木)	チビリンピック2017 前日袋詰め作業	13:00	16:00	50

5月5日(金)	チビリンピック2017	7:15	17:00	60
5月20日(土)	横浜F・マリノス vs 仙台【第12節】 14:00K/O	10:15	16:00	126
6月4日(日)	横浜F・マリノス vs 川崎【第14節】 17:00K/O	13:15	19:00	126
6月25日(日)	横浜F・マリノス vs 神戸【第16節】 18:00K/O	14:15	20:00	126
7月2日(日)	第5回ランニング合コン・5時間耐久リレーマラソン	8:00	16:30	60~70
7月8日(土)	横浜F・マリノス vs 広島【第18節】 19:00K/O	15:15	21:00	126
7月29日(土)	横浜F・マリノス vs 清水【第19節】 19:00K/O	15:15	21:00	126
8月26日(土)	横浜F・マリノス vs FC東京【第24節】	未定	未定	126
8月30日(水)	ルヴァンカップ準々決勝【予定】	未定	未定	未定

(集合時間など変更することがありますので、事前に確認してください)

編集後記

3月19日、板橋 City マラソンのボランティアに行ってきました。大会イベントで瀬古利彦さんと増田明美さんのトークショーがありました。東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて日本マラソン界の強化に関する興味深い話がありました。このトークショーには手話通訳の方が参加して、聴覚障害者にも内容が分かるように配慮がなされていました。2月5日のボランティア研修会の手話講習会で簡単な手話を学びましたが、改めて手話の必要性を感じました。

啓蟄が過ぎて3月20日は春分の日、寒さ厳しかった今年の冬も暦の上ではやっと終わります。冬ごもりをしていた動物や虫も巣穴から出てきます。私も冬の間は家に引きこもっていましたが、カメラを持って出かけることにします。まずは新横浜公園の花や虫の写真を撮りに行きます。(久保勝美)

「待ち人来る」永年ひとりで「ボランチわ」の編集に携わってまいりましたが、遂に共同編集者が現れてくれました。本号で初登場した久保勝美さんです。去る2月5日の研修会で新規編集部会希望者としてお会いして、即時に研修会記事作成をお願いしました。一週間後に送られてきた原稿を拝見して「これで私は何時引退しても良い」と安心しました。今後の「ボランチわ」はこれまで続いたマンネリから脱して、「楽しい・読みやすい・活動に役立つ」ものになると確信いたします。これからは久保さんには、「Jリーグ活動以外にも多くの活動に参加していただき、多くの楽しい記事を書いていただきたいと思います」と願います。(安田 十四雄)

発行・編集: 日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム TEL:045-477-5030 FAX:045-477-5002